

=====

RIKKYO UNIVERSITY
VOLUNTEER CENTER MAIL MAGAZINE
2020.08.28

=====

こんにちは。夏休みみなさんいかがお過ごしでしょうか。
残暑が厳しい毎日ですが、暦の上ではもう秋です。
「暦」と言われても、ピンとこないかもしれませんが、トンボが飛び始めたり、空が妙に高く感じたり、朝晩少しヒンヤリとした空気を覚えることはありませんか？

It's not half so important to know as to feel.
「『知ること』は『感じる』の半分も重要ではない」
アメリカの生物学者、レイチェル・カーソン Rachel Carson の言葉です。
皆さんは大学でたくさんの「学び」に触れていますが、本当の「学び」の種は、実は身の回りにたくさん溢れています。
今少し時間があるからこそ、自分の「感覚」にぜひアンテナを立ててみてはいかがでしょうか。
暦を理解し感じてみることも、自分の感性をまちがいなく豊かにしてくれるはずです。
スマホを持たずに、まずはふらっと散歩などはどうでしょう？

CONTENTS

- (1) ボランティアセンターからのお知らせ
- (2) 第2回Online Volu-Cafe開催のお知らせ
- (3) 第1回Online Volu-Cafeご報告
- (4) RSLセンターよりお知らせ
- (5) 陸前高田サテライト・東日本大震災復興支援関連情報

=====

(1) ボランティアセンターからのお知らせ

=====

【夏のボランティア活動について】
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、現在ボランティアの紹介・広報活動を中止しております。また、本学学生ボランティアサークルのボランティア活動も本学課外活動の基準に沿った対応を取ることになっています。
個人の責任においてボランティア活動に参加する場合は、いま行なうことが本当に必要かどうかを慎重に検討し、自己責任の上で行動してください。その上で活動をする場合も、活動先が各自自治体等で示している活動再開指針を遵守しているかどうかを必ず確認した上で参加するようにしてください。
首都圏の感染者が多数いる地域から人が行くことが持つ危険性について、十分に考えた上で慎重に判断してください。
以上について、不明な点や活動についての相談があれば、遠慮なくボランティアセンターまでお問い合わせください。
メール: volunteer@rikkyo.ac.jp 電話: 03-3985-4651

=====

(2) 第2回Online Volu-Cafe開催のお知らせ

=====

大学に入学したけれど、なかなか人と繋がれない・・・
この4年間勉強以外何をしたらいいのかわからない・・・
大学の中でどうやって友だちを作ればいいのだろう・・・
コロナ禍の中、そんな想いを抱えているみなさんへ。

立教大学には、大学の枠を飛び越えて、自分探しをして積極的に社会と関わり活動をしている学生がたくさんいます。

「Online Volu-Café」では毎回ゲストの学生2名に、「人と繋がること」「自分が大切にしていること」「大学生活で何ができるか」などをテーマに話してもらいます。

第2回は以下の内容で開催します。

【日時】2020年9月1日(火) 12:30～13:15

【定員】10名(先着順) 立教時間にて募集中。〆切は8/31(月)正午まで
まだ定員に余裕がありますので、ぜひお気軽に♪

【ゲスト】現代心理学部映像身体学科4年生

社会学部メディア社会学科3年生

東日本大震災復興支援活動・清里環境ボランティアキャンプ・

高畠農業体験・陸前高田市まちおこしボランティアなどの

経験のある学生です

大学生活について、ぜひいろいろお話しませんか？

事前申込制、定員は10名で、zoomを利用して座談会形式で行いますので、ゲストの学生へ自由に質問することができます。

詳細は「立教時間」をご確認ください。(参加者にURLとPWをお知らせします)



Online ボラカフェ

第2回

何か **一歩** 踏み出したい。大学生活を **充実** させたい。
立教生と **繋が** りたい。
そんなあなたの **"きっかけ"** に・・・

Guest
・社会学部 3年生
・現代心理学部 4年生
(復興支援サークル・清里ボランティア・高畠農業体験に参加した学生です)

気仙沼、高畠...
「現場」で学んだこと、
出会った「人」

宿み・
英語

人との繋が
りから学んだこと

先輩から大学生生活の話が聞けます！質問も可能！

日時 **9/1(火) 12:30～13:15**

ZOOM 双方向・座談会形式

参加
方法
立教時間からお申し込みください
締め切り8/28(金)17時
定員10名 ※先着順
(参加者には前日にURLをお送りします)

主催: 立教大学ボランティアセンター 〓 volunteer@rikkyo.ac.jp

=====

(3) 第1回Online Volu-cafeご報告

=====

Online Volu-Café 第一回は8月7日(金)、ゲスト学生2名と、一年生9名、コーディネーター2名による座談会形式で行われました。

以下概要を少しご紹介します。

自己紹介

Kさん(ゲスト):コミュニティ政策学科に行きたくて大学に入った。高校がとても楽しかったので大学もキラキラとした場所だと思っていたが、少し違ったことでモヤモヤとしていた。そんな時にボラセンと関わって、人間関係が大きく変わった。

高校の頃は限られたコミュニティでの人間関係だったが、外部の人や大学職員など大人とも繋がったことでいろいろな考え方に触れ、刺激を受けた。

たくさんの人と繋がることで、何事も待っているだけでは何も変わらないと気付いた。

授業も人との出会いも、自分から動かないとプラスの事は得られない。自分から動くことが大事だと思った。そこからボラセンや地域のプログラムに参加するようになった。

いろいろな人と出会い、刺激を受けたことで、モヤモヤしていたことが前より気にならなくなった。このことが大学生活を歩みだせたきっかけになった。

Tさん(ゲスト):「人と繋がる」ことが自分の大学生活で大きかった。

入学したときは、楽しかった高校生活と比べてしまい、思っていた大学生活ではなくモヤモヤした時期があった。

1年生の夏休み前にボラセン主催の農業体験のポスターを見て、楽しそうと思って参加してみた。そこで出会えた「仲間」がとても大きかった。今までは、何かを真面目に一生懸命やることや、真剣に自分の思いを周りに話すことが恥ずかしかったけれど、農業体験では今までにない環境で、同じ興味を持つ仲間たちと過ごすことで、その仲間たちに自分の思いを話すことが恥ずかしくない事だと感じた。それから、農業体験後も授業や様々なプログラムで出会った仲間に自分の経験を伝えていくことで、どんどん繋がりが広がっていった。

また、農業体験を終えて、就活もピンと来ない時に友人から勧められたRSLの授業に参加して山村留学を運営している団体に出会い、プログラムに参加してどんどん世界が広がった。

コーディネーターからの質問

モヤモヤしている時に、どのようなきっかけでボランティアセンターへ行こうと思ったのか？

K: ある授業でボラセンの職員が話をしている中で、「ちょっと違うな」と疑問を持った事があった。腹立たしい気持ちにもなったので、直接ボランティアセンターへ聞きに行った。

(自分は学習支援のボランティアを高校から行っていることもあり、伝えたいことがあった。)これまで深い話は友達とはあまりできない中で、話せる大人の相手をボラセンで見つけた感じだった。

参加者からの質問

①やりたいことがたくさんあった時に、どう優先順位をつければいいか。

②興味のあることに手を出すことと、長く続けることのバランスのとり方を教えてほしい。

やりたいことはたくさんあるけれど、大学4年間で何か達成したと自分で言いたい。

何かをやりつつ他に手を出していいのか...

K:優先順位について。自分もやりたいことはたくさんあるけれど、写真を撮りたくて登山サークルに入った。その時にはすでに高校から続けているボランティアをやっていた。それがメインだった。(1番優先)。だからと言って、他の事もやりたいからボランティアをやめる必要はないと思った。

片足を突っ込んでいても、もう片足あるのでサークルに入ってみた。けれど、一人でできると思ったのでやめた。

やりたいことは他にもやってみた、もう一方の片足でいろいろやってみて、合わなかったらやめればいいと思う。

T:1年生の時にサークルに入っていたが、農業体験に参加したことで、自分の価値観が変わった。(新しい場所に行くことが好き。)

色々と参加することでお金や時間をかけたいものの変化がいった。2年でサークルをやめて、日本から海外に興味があったので世界もどんどん広がった。

ふと、何か1つ目標を決めてやり遂げることが出来ていないと感じた時に、よさこいのサークルに誘われ参加したことで、目標に向かって続けることで得られる達成感や仲間との絆を得ることができた。

振り返ると、その時その時でやりたいことをやって来たが、「仲間」というベースがあり、繋がりができていた。

最初は長い間やりたいことがなかったのでもいろいろと手を出してみたけれどその中で自分がやりたいことや合わないことが分かったので、色々と手を出してもいいと思う。

コーディネーター:社会人になったらまとまった休みが取りづらい。もし迷ったら、今しか絶対にできない事を優先するというのは。今も自粛期間だが、逆にこんなに家にいることもないので今しかできない事もあるかもしれない。物事をポジティブに捉えて考えてみるといいと思う。

部活も授業も力を入れたいが、ボランティアでしか得られないものは何か。

T:自分はボランティアをしようと思って農業体験や清里キャンプに参加していない。

貢献しようという意識より、自分が体験してみたい事や、色々な人と出会って様々な考えに触れたいと思って参加していた。

K:ボランティアをしているという気持ちがない。

結果として自分にも学びになっている。

福島原発に訪れた際に、どこか他人事だったことが自分事に置き換えられた。

ボランティアも同じで、相手のことを考える(相手の立場になる)ことで、自分事に置き換えることができる。これはボランティアでしかできないことじゃないのかな、と思った。

今まで参加したボランティアの具体的な内容を教えてほしい。

K:高畠の農業体験について。1年生の時に参加した。

5泊6日でいろいろな学部学科の学生が集まり、料理・農業・深夜まで

語り合うことを行った。毎日、農家の方々の家にお手伝いに行く。

RSLのプログラムでは新潟県南魚沼の析窪集落に行った。

豪雪地帯なので、高齢者の方々の家の雪下ろしや雪かきをし、

さらに日本の文化や伝統を学ぶ。

T:清里環境ボランティアキャンプについて。

立教小・中・高と大学生で2泊3日かけてキャンプに行く。

メインの2日目には清里の森の道の整備を行う。

大学生はキャンプリーダーになる。
1つの目的に皆で向かうことで関係も深まる。
小中高の先生も引率で来る。ちょうど就活の時期だったので、
先生たちの話を聞いて子どもと関わる仕事について話を聞いたことで
自分の道が開けた。子どもだけではなく、普段あまり接点のない環境に
いる人とも話せたので、世界が広がった。

ボランティアをする前にどのような目標を立てていたのか。
自粛期間に何か考えを膨らましておいた方がいいのか…。

K: 自分の学びに繋がればいいな、と思ってやっている。
しかし、中には合わない団体もある。それでもミスだったと思わない。
そこでも発見がある。自分に響くものがなかったとしても、
それが気づきなので、やりたいことをやりたいようにやる。
自分のためにやるというのが自分のボランティアをする動機。

T: 特に目的は持っておらず、フィーリングで行動していた。
まず体験をすることに重きを置いていた。
最近では大学で様々な授業を受けて、社会の中にある問題に向き合うように
なった。
色々な社会の課題が見えてきて、実際に現場に行って自分の目で見たいと思った。
ボランティアをする前に事前に調べたり、課題意識をもって参加していたら もっと深められたか
な、と思う。

コーディネーター: 参加方法は人それぞれなので、とりあえず参加してみることで気づきもあるの
では。色々なタイプがいるので必ずしも課題や目標がないといけないわけでも
ないと思う。

=====

(4) RSLセンターからお知らせ

=====

2020年度 全学共通科目 立教サービスラーニング(RSL)秋学期実践系科目説明会
立教サービスラーニング(RSL)は、立教大学の建学の精神を背景として、社会で起きている課
題について大学での学びを活かしながら、現場に生きる人との関わりを通して「学びの質」を深め
るという活動型学修プログラムです。ホームページで、科目概要説明動画、学生体験談動画等ご
覧いただけます(視聴等にはV-CampusIDが必要です)。
説明会では実際のフィールドで学びを深めた先輩に質問できます！
みなさんの参加をお待ちしています。

★説明会へのお申込みと動画はこちらから！

・9月の事前説明会動画等資料をHPIに掲載しました。申し込みは立教時間から

■事前説明会資料 <http://s.rikkyo.ac.jp/605adb2>(要V-CampusID)

■RSL池袋 説明会申込 <http://s.rikkyo.ac.jp/b0086ad>

■RSL埼玉 説明会申込 <http://s.rikkyo.ac.jp/185fe29>

■RSL南魚沼説明会申込 <http://s.rikkyo.ac.jp/f630084>

※いずれもLIVEストリーミング配信です。

説明会参加は立教時間での申し込みが必要です。

【説明会日時】

- ・「RSL-コミュニティ(埼玉)」9月8日(火)12:30～13:20
- ・「RSL-コミュニティ(池袋)」9月9日(水)12:30～13:20
- ・「RSL-ローカル(南魚沼)」9月10日(木)12:30～13:20

Twitterでは説明会や授業の様子等、RSLの最新情報を発信しています。

https://twitter.com/rikkyo_rsl

立教サービスラーニング(RSL)センター
2020秋学期全学共通科目説明会

『見えない貧困』について考えよう

RSL-コミュニティ(埼玉)

9月8日(火)12:30～13:20
LIVEストリーミング配信
申込み・詳細は立教時間で！



立教サービスラーニング(RSL)センター
2020秋学期全学共通科目説明会

自然との共生と持続可能なまちづくりについて考えよう

RSL-ローカル(南魚沼)

9月10日(木)12:30～13:20
LIVEストリーミング配信
申込み・詳細は立教時間で！



立教サービスラーニング(RSL)センター
2020秋学期全学共通科目説明会

多文化共生と池袋地域の現状について考えよう

RSL-コミュニティ(池袋)

9月9日(水)12:30～13:20
LIVEストリーミング配信
申込み・詳細は立教時間で！



=====

(5) 陸前高田サテライト・東日本大震災復興支援関連情報

=====

★『響け！希望のトランペット』2020陸前高田リモート演奏会

オンラインで公開中！

立教大学で東日本大震災復興支援や陸前高田サテライトを担当されていた西田邦昭さんが代表を務める「響け！希望のトランペット」実行委員会では、東日本大震災を初めとする災害の被

災地の皆さまへ想いを馳せ、鎮魂の祈りと未来への希望を届けるため、陸前高田市でトランペットの演奏会を開催しています。

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により「リモート演奏会」を開催、オンラインで公開されました。是非、ご覧ください。

【『響け！希望のトランペット』 2020陸前高田リモート演奏会】※YouTubeが開きます。

https://youtu.be/ibHRD_i2Ves

【主催】「響け！希望のトランペット」実行委員会 ※立教大学も協力しています。

<https://cvillagetakata.wixsite.com/h-kibou-t>

【お問合せ】チームとも・いき 西田邦昭（連絡先は実行委員会ウェブサイトをご覧ください）

* お問合せ 立教大学陸前高田サテライト事務局 rrs@rikkyo.ac.jp

* 陸前高田サテライトの取り組みを発信中

公式Instagram (@rikkyo_rrs) https://www.instagram.com/rikkyo_rrs/

（編集担当：茅 芙美）